

あおぞら21



災害公営住宅の買取り議案を取り下げ（4月会議）… 2
企業誘致の取り組み（委員会報告）…………… 4

表紙：真剣勝負だ！～御船高校体育祭での綱引き～（5月13日）

4月定例会

30年5月31日

No.128

熊本・みふね町議会

災害公営住宅の買取り議案を取り下げ

4月会議を4月12日に開催した。工事請負変更契約を含む議案等4件を審議採決した。

4月議会で決まったこと（4月12日）

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
議案1	財産の取得について		有	
議案1	議案の撤回について	財産の取得についての撤回	有	全会一致で可決
議案2	工事請負変更契約の締結について	工事請負変更契約の締結（町道植木原竹下線（小坂橋）橋梁災害復旧工事）	無	全会一致で可決
同意1	御船町農業委員会の委員の任命について	御船町農業委員会の委員の任命	有	全会一致で可決
陳情12	吉無田高原における乱開発及び無秩序な土地取引行為防止に関する陳情について（継続審査）	吉無田高原の乱開発等の防止	有	一部採択

公営住宅の坪単価はいくらか

沖議員 古閑迫地区災害公営住宅の坪単価は幾らになるか。

野口建設課長 概算の建設工事費が2億5,200万円、総坪面積が177坪、坪単価に直すと約142万となる。あくまでも概算ということで今回提示している。

沖議員 課長はこの坪142万円の家を買うか。

野口課長 個人的にも高いという認識はしているが、現在人件費、資材費が高騰しており、都市再生機構としても余裕を持った概算費用を計上している。

沖議員 概算と言うが、これが基本になるのでは。

野口課長 都市再生機構は、議決をした後事業者の募集を行う。

従って、機構と実際請負った業者の契約額は違ってくる

ので、今後変更契約の議案もでてくる。

坪単価交渉はしたか

沖議員 都市再生機構と坪単価の交渉はしたのか。

野口課長 町と都市再生機構との基本協定を締結し、詳細な設計、発注業務、施工管理、各種検査等一括してこの都市再生機構が責任を持って完成まで進めていき、できあがったものを町が買い上げる。

沖議員 財源はどうするか。

野口課長 国が4分の3、残りの4分の1は起債となる。

沖議員 起債分は幾らになるか。

野口課長 8,664万。

沖議員 金に対しての厳しさが無い。家賃は幾らに設定するのか。

野口課長 3月の広報等でも周知をしているが、居住世帯

の月収によって決めていく。

坪単価142万円は高い

中城議員 坪単価142万円は高い。個人住宅の一流メーカーでもそんなにしない。

都市再生機構は、国交省所管の独立行政法人ということは承知しているが、概算の基本契約といっても町民感情からも納得できない。公的機関であるからと、十分検討しないで安易に契約するとは思えない。

藤木町長 今回の都市再生機構との契約は県、国との調整もあり、協議しながら進めてきた。今の段階で物価上昇率20%を見込んで提案した。

中城議員 暫定の基本契約であって、実際業者と契約をするときは変更契約をするのか。

藤木町長 そのようになる。

中城議員 災害公営住宅を早

急に整備する必要があることは十分わかるが、他町村のやり方も参考にして、町民の理解が得られるようなやり方で、もう一度提案したらどうか。

藤木町長 今までのような機関と調整しながら今回提案した。被災住民のためにもこれでさせていただきたい。

中城議員 この内容、金額では私どもは町民の代表として町民に説明ができない。再検討を求める。

議会の任務は議案チェック

岩永議員 私たちの任務は議案をチェックすることにある。今の説明では、非常に抽象的で納得できない。町民感情としては坪単価が高すぎる。

もう少し丁寧な説明を求める。

藤木町長 いち早く被災者のために災害公営住宅を造らなければいけない。

今、町はマンパワーが不足



災害公営住宅予定地（古閑原地区）

し厳しい状況であり、震災復旧でも実績のある都市再生機構と契約をした。

福永議員 坪単価について都市再生機構と下げる交渉はしたのか。

また、御船町単独で交渉ができる性格の契約なのか。

野口課長 自治体で価格が違うとは思わないが調べてみる。

田端議長 執行部から内容把握を再度やりたいとの申し出があったので休憩をとる。

本議案を一旦取り下げる

本田副町長 坪単価の問題等皆さんが納得できないと思うので、この議案は一旦取り下げて、都市再生機構を全員協議会によんで、もう少し詳しく説明をしたいと思う。

※本議案については、5月議会において再提案されました。なお、5月議会の結果は6月号にて報告します。

お詫びと訂正

あおぞら21第127号3ページ、議案の採決結果欄において、誤りがありました。正しくは、下記のとおりとなります。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

誤

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
議案 67	御船町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員数の見直しに伴う一部改正	有	全会一致で 可決
(略)				
議案 81	御船町水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	手数料体系の適正化に伴う一部改正	無	反対者 冲議員



正

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
議案 67	御船町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員数の見直しに伴う一部改正	有	反対者 冲議員
(略)				
議案 81	御船町水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	手数料体系の適正化に伴う一部改正	無	全会一致で 可決

企業誘致の取り組み

総務文教常任委員会 委員長 藤川博和

総務文教常任委員会を5月7日に開催した。

現在、御船IC東側の11haと木倉コメリ前の4.8haで企業誘致を進めている。なお、企業側の了解が得られていないため、今回は企業名は出すことができないとの報告を受けた。報告の内容については以下の通り。



企業誘致の取組みにおける説明の様子（H30.5）

(1)大型商業施設の企業誘致に向けた御船町の取組みについて

11haの敷地の内訳は大型商業施設が6haで建屋が1.4ha。隣の敷地が5haとなっている。5haについて別の企業で調整を行っている。

周辺の隣接道路は幅員拡張を考えている。

県と協議する中で周辺道路網に与える交通影響の解消が重要課題との指摘があり、御船町都市計画マスタープラン

の見直しと併せた交通影響調査を実施していく。6月議会に交通影響調査と都市計画マスタープランの見直しのための予算計上を予定している。

インター出口からの道路整備については、懸案事項として把握しているが、交通影響調査後に警察やNEXCO西日本（西日本高速道路株式会社）と協議を行ったうえで対応策が決まる。

小池高山ICから来る人も想

定されるので道路管理者や交通管理者と協議して検討する。

矢形川への排水となるため、県に改修の要望を出している。

補助金の返還はないと思われるが、暗渠排水、農災等の返還が予想される。

(2)コメリ前企業誘致について

コメリ前に関する交通影響調査は必要ない。現在アドバイザー経由で企業誘致調整中なので進展があり次第説明する。



企業誘致が期待される御船インター周辺（航空写真）

各課の課題及び現在の進捗状況調査

産業厚生常任委員会 副委員長 福永 啓

5月7日、第2回産業厚生常任委員会を開催し、委員会が所管する「こども未来課」「環境保全課」「健康づくり支援課」「建設課」「商工観光課」「町民保険課」「農業振興課」「福祉課」計8課より、主に震災対応以外で、各課の業務における課題及び課題に対する現在の進捗状況について報告と説明を受けた。

それぞれの課より、現在取り組んでいる主な課題計28点についての報告があり、その内容は、町民生活に直接関わる課題、事務的な課題、復旧・復興に密接に関わる課題など様々であった。

また、進捗状況の説明においても、すでに課題解決の道筋が見えているもの、現在もその課題解決に対して取り組みを続けているもの、課題解決への糸口が見えにくいものなど様々であった。



各課の課題及び現在の進捗状況調査（産業厚生）の様子（H30.5）

委員会として今後も、町執行部が認識している課題やその課題に対する進捗状況に対する報告を適宜受け、正しく把握し、熊本地震からの復旧・復興はもとより、町の日常業務に対する課題解決に資する提言、意見等を積極的に行う事により、町民全体の福祉向上に資するという議会の

使命を果たしていきたい。

なお、次回の委員会以降においては、町執行部から受けた報告をもとに委員会で討議し、緊急性や重大性などを基準に優先順位をつけながら、個別の課題がより良い形で解決が図られるよう、建設的提言を行っていく事としている。



復旧・復興に関わる課題（松の生地区農業用水路）



復旧・復興に関わる課題（東上野地区農業用水路）

かがやく



ひと



水越
竹下紀一さん
(水越中央区長)

今が、チャンスと、捉えスタート

五十八%、この数字は、藤木を含む大字水越地区の高齢化率です。限界集落という言葉、以前からよく耳にしていました。しかし、それが今、私の住む地域がその真つただ中にあり、小集落では、町六十五・五%、田畑六十%、粒麦五十八・八%という実態です。五年後、十年後を考えると、ほとんどの住民が六十歳を超え、上は九十歳を超えてしまっています。今でさえ、公役の作業も危ぶまれ、地域活動の維持はおろか、戸々の生活さえ危ぶまれてしまっています。そんな中、長期間懸案事項となっていた町嘱託区再編の話が浮上してきました。水越としては、いち早く検討に入ろうと、町の指導を仰ぎながら、町づくり協議会を立ち上げ話し合いを進めてきました。結果、二地区について

では今回見送りとなりましたが、水越の中央に位置する町、田畑、粒麦の三集落は、今回統合しないとチャンス逃してしまふ、是非統合を行い、地域の生き残りを図ろうと、今年四月、水越中央区として発足、第一歩を踏み出しました。元々、町、田畑は隣接地にあります、粒麦が二キロほど離れ、道路事情も悪く、災害時の連絡等懸念されましたが、話し合いの中で町にいくつかの意見を持ちかけながら解決を図り統合の道を選びました。これから先、区の運営を行う上で、様々な問題点が出てくるものと思われませんが、まずは先に進みながら時代、事情が変わる中で、方法を模索しながらやっていければと思っております。

議会の予定6月

2日	高木保育園落成式 水越ホテルを見る会
4日	議会運営委員会
8日	御船町防災会議
11日	全員協議会
14日～19日	議会(予定)
29日	御船町人権教育 推進協議会

編集後記

熊本地震によって国道445号線(下鶴地区)で、岩石、土砂が落石防止のフェンスを押しつぶし国道をふさいでしまいました。二年間全面通行止めが続き、迂回路はありませんでしたが、山都町の方々、七滝地区の皆様方に大変迷惑をかけました。五月一日より全面通行できるようになりましたが、二年間は長かったです。生活道として毎日利用し不便は当たり前と思っただけでしたが、今回は特別に有り難いと思って通行しています。また、地震で被害を受けた文化財の八勢の目鑑橋も完成し、下鶴橋も完成間近です。あとは、災害公営住宅の建設、そして、農業用水路、

水田の復旧です。三年間も田植えができない地区があります。このままだと山間地区は、農業をやめる人が出てこないか、過疎に拍車がかかりはしないか心配です。どうしても来年は、田植えができるように早い復旧復興を祈ります。

岩田重成

議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二